

令和2年度佐賀県立神埼清明高等学校入学式 学校長式辞

令和2年4月8日（水）10：00～

清明の春の光に包まれ、天地が澄みわたる今日の佳き日に、PTA会長 大澤 忠明 様の御臨席を賜り、令和2年度佐賀県立神埼清明高等学校入学式をここに挙行できますことを、心より感謝申し上げます。

ただ今入学を許可しました160名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。在校生、教職員一同、皆さんを心から歓迎いたします。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。

本校は、大正2年に神埼郡地主立農産学校として開校され、農業の専門高校であった神埼農業高等学校から、平成8年に、佐賀県で最初の総合学科高校に改編され、同時に校名も神埼清明高等学校に改称され、今日に至ります。今年で創立107年を迎える歴史と伝統ある学校であり、総合学科としても25年目を迎えます。

本校では、総合学科高校の特長を活かし、生徒が夢を見つけ、夢を育て、夢の実現に向けて、実りある高校生活を送ることができるよう、教育課程をはじめとする教育環境の充実に努めています。具体的には、1年次に、普通教科を中心に学びの基礎となる学力を身につけ、2年次に、みどり、食品科学、情報ビジネス、生活・福祉、健康・スポーツ、人文教養の6つの系列から、希望する進路に応じて科目を選択します。そして、3年次に、選択した系列の学習をさらに深め、高い専門性を身につけ、希望する進路、そして将来の夢の実現を目指しています。

本校には、「はずむ生命 ひかる生命 ～君と生きるために～」という教育指針があります。「はずむ生命」とは、エネルギーに満ち、躍動感あふれる生命、「ひかる生命」とは、光り輝く個性と能力を持ち、周囲を明るく照らす生命という意味です。そのような生命、つまり生徒を育てることを教育目標としています。そして、「君と生きるために」とは、生徒一人ひとりが自分の力を高めるとともに、多くの人々と関わりながら、力を合わせて、より良き社会を創るという意味です。そのような生徒を育てることを本校は目指しています。

実際に、生徒たちは、日頃の学習に加えて、部活動や各種コンテスト、ボランティア活動などに意欲的に取り組んでいます。例を挙げれば、新体操部が平成29年と30年に、全国高校総体で二年連続優勝を果たしました。ハンドボール部も各種大会で優秀な成績を収め、県の強化拠点校にも指定されています。そして、昨年度、福祉系列の3人の生徒が全国高校生介護技術コンテストで最優秀賞を受賞し、その副賞としてデンマークでの海外研修を経験しました。また、今回は中止となりましたが、「さが桜マラソン」では、第一回から毎年100名ほどの生徒がボランティアとして、全国から参加するランナーに元気を与えています。

このように、神埼清明高校には、自分もつエネルギーや力を発揮することで、周りの人々に元気と希望を与えてくれる生徒がいます。

本校では教育指針を支える三つの心として、「感じる心」、「考える心」、そして「行なう心」を育てています。高校生活の中で出会い、経験するものから、自分にとって大切なものを感じ取り、今自分が何をすべきかを考え、実際に行動を起こすという心を育てます。

それでは、新入生の皆さんに、これからの三年間、意識して取り組んでほしいことをお話しします。

まず、夢を持ち、挑戦し続けるということです。高校入試を経験した皆さんは実感していることだと思いますが、人生はチャレンジの連続です。夢に向かって進んでいけば、その節目で自分の力を試されることが数多くあります。努力を重ねたことで、次のステップに進めることが何より大切なことですが、たとえ壁にぶつかっても、諦めることなく、自分を信じて挑戦を続けてください。何度も挑戦し、多くの時間がかかったとしても、夢に近づくために努力することは、皆さんを必ず成長させます。

それから、目標を持つということです。目標は人にエネルギーを与えてくれます。目標を実現できた時の喜びはとても大きいものですが、それ以上に次の目標に向かう勇気と活力を与えてくれます。どんな目標であっても、自分が決めたことをやり続ける。自分でやるべきことを考え、時に自分を励ましながら、毎日ベストを尽くすことが大切です。目標を持ち、日々努力を続けることで、人は大きく成長することができます。

最後になりますが、保護者の皆様にお願いがございます。高校生活は、責任ある大人として自立していく重要な過程であり、心身ともに様々なことに遭遇する時期です。学校と家庭が車の両輪として同じ方向を目指し、地域の協力と支援を得ながら、生徒を育てていくことが何より重要であると考えます。どうか、保護者の皆様には、本校の教育活動に御理解、御協力をいただきますようお願いいたします。

本校の校歌は、シンガーソングライターの加藤登紀子さんが作曲し、本校の生徒有志とともに作詞したものです。その冒頭で「今 時を刻む 偶然がくれたこの時」、そして最後に「今 時が生まれる 無限に続く未来へ」と歌われます。これからの三年間、校歌を歌う度に、この歌詞に込められたメッセージを心に刻んでください。

新入生の皆さんが、今日の喜びと感激を忘れず、一人ひとりが輝く、充実した高校生活を送られることを期待し、学校長の式辞といたします。

令和2年4月8日 佐賀県立神埼清明高等学校長 高尾 伸之